

ホーム > 市民レポーター > 西中学校『防災の体験学習』 3月23日(火)

西中学校『防災の体験学習』 3月23日(火)



平成22年3月23日(火)、東久留米市立西中学校において『防災の体験学習』が開催されました。

今回の訓練は、西中地区青少年健全育成協議会の主催で、東久留米市赤十字奉仕団、防災まちづくりの会・東久留米、市の防災防犯課、西中避難所初期活動班、東久留米消防署、みなさまの協力で開催しました。

学校を拠点とした地域の防災体験学習に、今回のようにたくさんの団体が協力して開催するのは珍しい取り組みだと思います。

この訓練は、西中の1～2年生の生徒さんと西中地区(7小、9小、南町小、西中)の保護者の皆様を対象に開催しました。

生徒さんも保護者の皆さんも、実際に災害が発生したとき、いったい自分がどうすべきかを体験を通して学ぶチャンスです。

『地震なんて起きないよ』と思ってみたいものの、疑似体験をするとやっぱりちょっと心配になるものですね。

生徒さんたちも、今回の体験を通じ、何かと心の変化があったのではないのでしょうか。

各ブースや西中の生徒さんたちの様子をお伝えしたいと思います♪



AED(心肺蘇生法)の体験ブースです。例え練習でもかなり緊張しますね。本当に人が倒れたときはパニックになるかも・・・？もしもの時に慌てず対応できるのか、1回の練習ではまだまだ心配です。機械から聞こえる指示の音声は、ちょっとした雑踏の中では聞こえづらいので注意が必要だと思いました。



こちらでは、非常食・アルファ米の‘五目おこわ’を作っている場面です。お湯を注いで20分、箱をひっくり返して20分で、おいしいおこわの出来上がり♪「お湯を注いで混ぜるだけで本当にできちゃうの？」と思っておりましたが、本当に出来上がりました。とっても美味しかったです♪



このコーナーでは三角巾を使つての救急処置の体験ブース。腰、頭、腕などの救急時の固定方法を習いました。これさえ知っていれば当面の応急処置はできますね。



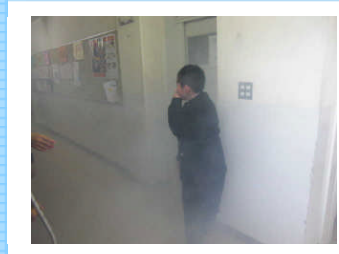
「うまく結べてますか？」となりのお父さんに確認してもらっている若いお母さん。非常事態の時には助け合い(愛)が必要なのですね。三角布の結び方にはコツがあり、固く結んでも引きぬける方法があるということを覚えました。



こちらは起震車で地震体験コーナー。はじめはちょっと複雑な気分と並んでいる西中の生徒さんたちですが、クラスメイトが体験するのを見て「怖そう・・・」「おもしろそう!!」「えー、乗りたくない!」「早く乗ってみたい♪」などなど・・・反応も様々でした。



この起震車で体験できる地震規模は震度7で約20秒間。この規模は、阪神淡路大震災や中越地震と同じ規模です。これが実際の地震だったらどうしよう?と考えるだけで怖くなります。「揺れたら火を止める!」を徹底し、被害を最小限に食い止めることが大切・・・でも一瞬の出来事、どこまで迅速に対応できるのか・・・など心配は尽きませんね。



煙体験ブースです。本当に真っ暗で先が見えない、匂いがする、息が苦しいなど、練習と言えども、とても怖い思いをしました。生徒さんたちもリアルな煙に敏感に反応している様子です。中には咳きこむ方もいらっしゃいました。



こちらは展示物のコーナー。災害の時には備えて安心のピュアウォーター。人間の体の80%は水分。災害時、一番のポイントはライフラインの確保。中でも水は本当に大切です。



ピュアウォーターの試飲コーナー。おいしいですか?水道から水が出なくなると思っただけでもゾッとします・・・もし、その状況に直面したとき、私はどうするのだろうか?と改めて考え込んでしまいました。みなさんは、どうしますか?避難所の水だけをあてにするのかな・・・それだけじゃ足りないような気がしますね・・・



介護用の紙おむつと大きな缶を使った簡易型トイレ。展示物を見て、「!?!」と思うけれど、トイレがどこにもなかったら仕方がないですもの。いつでもお手洗いにいける状態になつた時に、人は一体どうなるのでしょうか。このことは本当に悩みの種です。当たり前なのが当たり前でなく、凄く幸せなことなんだと改めて感じました。



さて中学生の皆さんの訓練です。サイレンが鳴ってから、7分程度で全員が逃げることができました。実際の逃げ足はもっと早いのかなあ?大人も子どもも、一人一人が自分の安全を自分で守れることが一番大事ですよ!!



今回は全員の体験はできませんでしたが、クラスの代表者の方の消火器の練習です。消火器って意外と重たい?!結構手に力を入れないとハンドルが握れない!!など体験された生徒さんは色々なことを感じたのではないのでしょうか?消防署の方に「上手いね!!」と褒められていましたね。

取材後記・・・日本は地震の活断層の上にあり、地震多発地帯です。また、大地震の周期は関東地方に関して言えば80～90年位だと言われています。

このため、いつ大地震が起こるかわからないような状態なのです。

最終的に自分の身を守ることができるのは自分しかいません。

中学生の皆さんの防災体験学習を見学させていただき、災害が起きてからでは遅い、今からでも出来ることからしていかなくては、と切実に思いました。

記事・・・猫の宮